

留学生ホットライン ニュースレター

No.18

2010 年 3 月発行

顧問からのメッセージ

留学生ホットラインのボランティアの皆様、学生たちの留学先でのトラブルを防ぐ為に或いは起きてしまったトラブル解決の為にそして諸々の相談の窓口として、親代わり或いは先生や先輩に代わって学生たちにとって誠に貴重なアドバイスを与える重要な役目を担っておられること、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

昨年のこの欄で申し上げましたが、一昨年から急激に悪化した世界の経済は各種経済指標によれば、二年経過した現在徐々に回復の兆しを見せ始めています。しかし、いまだにアメリカでの失業率は10%を超えており、フリーウェイ出口や街の角々で物乞いをするホームレスの数はむしろ増えているのではないかと思わせるほどです。オバマ大統領の経済施策が十分でないとの批判も出始め、今年11月の中間選挙での共和党の巻き返しが注目される事態になりつつあります。1930年代の大恐慌は回復に10年掛かったといわれており、今回の世界不況脱却には不況対策が格段に進歩した現代でも矢張り2年ほどでは無理だったということでしょうか。

私立も含めたアメリカの各大学もこの不況下で経営の困難に直面しており、政府予算のカット、大学自身の投融資の失敗、寄付金の減額、学生数の減少などの結果、授業料値上に踏み切る大学が続出し、留学生たちの生活にもその荒波が押し寄せ始めているのではないのでしょうか。ホットラインへの相談も深刻度が増してくることが予想されます。ホットラインの皆様の真価が益々問われることになるかも知れません。

どうか今年も十分に健康に留意され、留学生たちの為、ひいては日系コミュニティーの為に活躍されんこと心よりお祈りいたします。

2010 年 1 月

オレンジ郡日系協会会長

南加日系商工会議所アドバイザー 安部新二

代表からのメッセージ

早いもので私が留学生ホットラインの代表という役割を引き受けて今年でもう4年目になります。これまでボランティアメンバーやコミュニティーの皆様を支えられながら無我夢中でやってまいりましたが悩むことも多く、最近では益々この役割の難しさを痛感しております。

現在の大きな悩みは、財政難です。2007年までは毎年リトル東京サービスセンターのイベント、トーフフェスティバルへのブース出店による収入があり、2008年は留学生ホットラインが外務大臣表彰を頂いたこともあり例年より多くの寄付が集まりました。しかし、2009年はオフィスレントの大幅な値上がりに加えて不況の影響でドネーションも減少した結果、残念ながら費用が収入を大きく上回りまさに団体は存続の危機にあります。それでも留学生ホットラインを利用してくれる留学生が存在する以上、我々は活動を続けたいと願っており、その為に様々なファンディングを検討しておりますが、何分ボランティアの素人集団なのですべてが暗中模索の状態です。コミュニティーの皆様、留学生のため、明るい光を差ししていただけませんか。御助言、御指導そしてもちろん御寄付などお力をお貸し下さるよう切にお願い申し上げます。

世の中の景気はまだすぐに良くなるという訳にはいかないようですが皆様どうか充実した2010年をお過ごし下さい。

代表 大川千鶴

新コーディネーターからのメッセージ

今期のコーディネーターに選出されました、かつ子と茜です。二人とも2008年にスタートした同期です。一年あまりリスナーを努めて参りました。アメリカでの二人の原点は留学生からでしたので、留学生の立場をより理解／共感できるかと思っています。私達は一人でも多くの留学生にホットラインの存在を知って頂いて、彼等の役に立ちたいと願っています。二人共、コーディネーターの役は初体験ですが皆様の応援、協力を元に精一杯努めさせていただきます。

どうか宜しくお願い致します。

ボランティアコーディネーター かつ子・茜

2010年度 役員について

本年度の役割は以下のように決定しました。

留学生ホットライン代表 大川千鶴
 // 副代表 和田容生子
 ボランティアコーディネーター かつ子
 // 茜

2010年度 活動予定

5		
5	6	

2009 年 活動報告

	JSN

留学生ホットラインセミナー

4月18日(土)、小東京センテナリーメソジスト教会にて、第10回留学生ホットラインセミナー「ちょっと待って留学生」を開催しました。このセミナーは、領事館との共催により、より多くの日本人留学生にホットラインの活動を知ってもらうため、また専門家に直接質問できる機会を学生に提供できるよう企画され、2009年で10回目を迎えることが出来ました。当日は講師として3名の専門家をお招きし、ロン長谷川氏より交通違反の処置や心構え、DUIの知識、犯罪対策等、また、捧みよ子氏より就職活動のノウハウ、そして、瀧恵之弁護士より移民法やビザ情報を大変詳しく、親切に講義して頂きました。日本領事館より豊田副領事御夫妻も参加頂き、当地での領事館の働きや、各種行政サービス等の説明をして頂きました。また、LA地域の日本食品会社からは、参加学生へのプレゼントを寄贈して頂きました。こうしてコミュニティーの皆様のお蔭で参加学生に対して大変有意義な時間を提供することができました。スタッフ一同、今後もこうしたセミナーを留学生のために可能な限り続けたいと考えております。皆さんのご支援を頂ければ大変ありがたく存じます。

セミナー係 みつよ

リトリート

昨年5月のリトリート（ボランティアの目的などを見詰め直し初心にかえる機会）では、寺町のミーティングルームを借りて、現役ボランティアでコーチングの専門家である茜さんによるリスニングのスキルや目標達成などのお話の他、スローガンについての話し合いや長期ボランティアの表彰などを行いました。今回初めて実施したプレゼント交換や係が手配したお弁当も好評で、大変充実したリトリートとなりました。

リトリート係 谷上

ボランティアトレーニング

2009年トレーニング

新しいボランティア希望者にたいして2009年7月から約2ヶ月半に渡って日系ヘルプラインと合同でトレーニングが行われました。開始直前まで受講希望者が全然集まらずどうしたものかと心配しましたが最終的に4人の新人ボランティアがトレーニングを修了してくれました。

様々な分野の専門家による6週間の講習の後、現役ボランティアの指導による実習を約3週間行いました。講習を進行してくれた谷上さん、下川さん、準備を手伝ってくれた栗原さんと忙しい中それぞれがんばってくれましたがなかなか係だけでは追いつかず係以外のボランティアやヘルプラインの方にも助けてもらいながら何とかやりきることができました。

実習は現役ボランティア総がかりで当たってもらいました。皆さんありがとうございました。

ひとつ嬉しかったのはかつて同じトレーニングを受け、つい何年か前までボランティアの仲間だったOBがプロフェッショナルのセラピストとなり精神衛生の講師として来てくれたことです。こういうこともボランティアの醍醐味の一つですね。

このトレーニングを修了した4人は優秀な人揃いで電話相談はもちろん、それぞれミーティング係、情報整理係などとして活躍してくれています。ボランティアのシフトのスケジュールの係やこのニュースレターも新人のボランティアが編集してくれています。頼もしい限りで本当にトレーニング係冥利につきます。最後になりましたがお忙しい中、毎回、無償で講習を引き受けて下さっている講師の皆さんに心底より感謝いたします。

トレーニング係 TT

7/25 ()	
8/1 ()	
8/8 ()	
8/15 ()	
8/22 ()	
8/29 ()	
9/8	

留学生ホットラインではボランティアを募集しています。

ü

18

リスナー希望者に対して定期的にトレーニングを実施しています

(213)473-1630

<http://ryugakusei.ltsc>

新人ボランティアからの一言

トレーニングを終え、ボランティアの一員となったみなさんからのメッセージをご紹介します！

私も十数年前は留学生でした。そんな経験を活かしつつ、何か貢献はできないかと考えていた時、留学生ホットラインのボランティア募集に出会いました。いつも集計のためにコーラーの方へ「RHL をご利用になられたのは何回目ですか？」と質問するのですが、「2度目以上」「何度もお世話になっています」とお答え頂くことも多く、インターネットを始めとする様々な情報収集方法がある現代においても、こうして1対1で話ができる RHL の貴重な存在を再認識すると同時に、微力ながらも私も貢献できていることに日々喜びを感じています。(MK)

私自身、看護の勉強をしている留学生です。トレーニングではコーラーさんとのコミュニケーション、精神衛生、ドメスティックバイオレンスなど、実際学校で習ったことを専門の先生方からお話を伺うことができ、とても勉強になりました。電話をかけてこられる留学生の方々の身になって、RHL に電話をかけて良かったと言ってもらえるようなリスナーを心がけていきたいと思っています。(CB)

2008年11月末に来米し、毎日心もとなく過ごしていました。そんな時にRHLのボランティア募集の広告を見、此方に来て日の浅い自分にできるか多少の不安がありましたが、思い切って応募することにしました。さまざまなテーマの研修を受講し、留学生の抱える問題が自分の思っていた以上に多岐であることに驚きました。今は、実務に入り、実際に相談を受けていますが、先輩の助言を得て対処している日々で、相談イコール自分の勉強という状態です。それでも、解決の糸口が提案でき、相手から嬉しそうな声がかえってきたときはやってよかったと思います。これからも、不慣れですが、留学生と一緒に考え、問題を解決し、実り多い留学生活の一助になればと思います。(YO)



インターネットにアクセスすれば大抵の情報は入手出来る便利な時代になりましたが、ネット上の情報は正に玉石混淆で、留学生の皆さんの中にはどの情報を信じて良いのか迷っている方々も多いと思います。日本から遠く離れアメリカで頑張っておられる留学生の皆さんに、より正確な情報を提供出来るよう努力して行きたいと思っています。(HW)



2009 年 インテイク統計

性別・曜日別:

件数	性別			曜日				
	男	女	不明	月	火	水	木	金
322	124	195	3	71	83	51	63	54

内容別:

ビザ関係	学校	交通	ハウジング	健康	犯罪	生活	その他
152	49	37	19	29	8	37	34

月別:

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
32	23	23	24	35	27	33	32	21	22	24	26	322

2009 年 会計総決算報告

2009 年度総収入	\$745.61
2009 年度総支出	\$9,306.01
2009 年度末残高	\$9,006.16
2008 年度末残高	\$17,566.56

総収入	
ファンドレイジング	\$0.00
団体・個人ドネーション	\$731.00
銀行利子+アジャストメント	\$14.38
合計	\$745.61

総支出	
(A) オフィスレント費用小計	\$4,396.00
(B) オフィス備品等費用小計	\$1,463.37
(C) イベント費用小計	\$1,816.18
RHL セミナー	\$1,087.88
リトリート	\$319.14
トレーニングセミナー	\$409.16
(D) その他費用小計	\$1,630.46
広告費	
交通費	\$1,630.46
(A)+(B)+(C)+(D) 合計	\$9,306.01

ドネーションについて

1991 年に米国カリフォルニア州ロサンゼルスに発足した留学生ホットラインは、地域の非営利社会福祉団体、リトル東京サービスセンター及び在ロスアンゼルス日本国総領事館と提携し、その他コミュニティーの諸団体や個人からの支援を得て、留学生からの相談に対して情報照会を提供するボランティアによる非営利の団体です。

また、留学生ホットラインは様々な個人、団体からの寄付によって運営されています。皆様からのご寄付が留学生をサポートします。是非ご協力をお願い致します。

郵送によるご寄付

チェックのあて先:

Ryugakusei Hotline

郵送先:

Ryugakusei Hotline,
231 E. 3rd St., Suite G-104,
Los Angeles, CA 90013

その他の方法によるご寄付についてはお電話でご相談下さい。留学生ホットライン (213) 473-1630

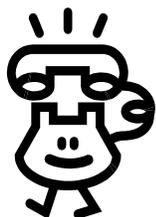
編集後記

去年は激動の年だったように思います。バラク・オバマが第 44 代アメリカ合衆国大統領に就任、アメリカ、メキシコにて新型インフルエンザ感染が確認され、マイケルジャクソンの死去などの衝撃なニュースが相次ぎました。おまけに景気回復は不透明なままです。

しかし、2010 年は始まったばかり。今年も私たちはさまざまなイベントを計画し、かつ、留学生のみなさんからの相談に誠意をもって答えていきたいと思っています。

最後になりましたが、お忙しい中、原稿をかいてくださった方々、特に作成に関して手を差し伸べてくれたメンバーに感謝します。ほんとうにありがとうございました。

ニューズレター作成担当 : Chika



Thank you for your support!!

Ryugakusei Hotline

231 E. 3rd St. #G-104

Los Angeles, CA 90013

★★★留学生ホットライン★★★

ガレージセール 開催のお知らせ

ファンドレイジングのためにトーランスでガレージセールを開催致します。日本の本や食器など多数ありますので、お近くの方、そして活動にご賛同頂ける方は、この機会に是非お立ち寄りください。

2010 3 27 () 9 00 13 00

1923 W. 235th St., Torrance, CA 90501



留学生ホットライン,

231 E. 3rd St., Suite G-104, Los Angeles, CA 90013
(213) 473-1630 (月~金) 10AM~5PM (祝日を除く)

<http://ryugakusei.ltsc.org/>